

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			事務所移転前は人数に対し手狭な時もあったが、移転後は十分確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用者数が多い時期があり、基準は適切だが職員の数が足りないと感じることもあった。支援に十分な数を配置していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			以前は不十分な場所もあったが、移転後に改善された。2階への移動はエレベーターを整備している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援内容や共有事項などは、日常的に職員間でやり取りを行い、また定期的に全体の職員を集めた会議をおこなっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			この事業所向け評価表以外のアンケート等は実施していない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに結果を掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は実施していない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全体研修を実施しており、また職員が個別に参加した研修に関しても後日全職員に資料や報告書等を回覧している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもと保護者への聞き取りを行い適切に計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現在、標準化されたアセスメントツールは使用していない。今後の導入を検討している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			なるべく全職員で討議できるようにしているが、その都度参加している職員でおこなっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	平日は曜日に応じて計画を立てているが、プログラムによっては長い期間の反復練習が必要なものもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇など長い時間を使ってできる活動などを考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			自立に向けた支援としてはどちらも重要な活動と考えている。個人の課題に応じて支援計画に盛り込んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、支援前に通達事項や共有事項の申し合わせをおこなっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援終了時ではないが、気づいたことなどは申し合わせの時に伝えている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の内容は連絡帳に記載している。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも6ヶ月に1度、また、3年生時など進路についての相談も有るため、それらについても必要に応じてモニタリングを行い計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドライン通りというわけではないが、参考に支援を行っている。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画しているか	○		管理者兼児発管が参加しているが、必要に応じ て指導員も立ち合いをしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っているか		○	学校との情報共有の体制は整えられていると感 じるが、学校側・事業所側が実際にそれを活用 できていないことも実感している。今後は情報交 換ができるようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ているか		○	現在までそのような事例なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前の事業所や施設との情報共有はおこな っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等しているか	○		現在まで該当の子どもさんがいませんが、必要 に応じてサービス事業所等に情報提供はおこな う予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けているか		○	他の機関との連携不足は否めないと感じてい る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	○		長期休暇期間に近隣の児童クラブとの交流をお こなっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか		○	議題やテーマに応じて参加を決めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか		○	定期的な面談や連絡帳経由以外では中々保護 者と蜜に連絡を取り合うことがない部分もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っているか		○	ペアレント・トレーニング等とは違うが、子どもた ちの自立の為にご家庭の協力は不可欠です。
保護者へ の説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明をおこない、個別で質問がある際 は対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ているか	○		管理者兼児発管が窓口となり、対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか	○		定期的におこなっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか	○		苦情窓口の設置と説明をおこなっている。 苦情があった際には素早い対応を心がけてい る。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	○		行事参加の様子や写真などは連絡帳経由でお 渡ししている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報が記載されている書類等は鍵付きの 事務所に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	○		ふりがなや簡単な語句での案内をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか		○	愛・あいネット全体としては行っているが、当該 事業と住民の皆さんとの交流はない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防犯マニュアルは未作成なので、作成していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人全体として年1回の研修をおこなっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在まで該当者無し、但し契約時に説明はおこなっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当するケースが現在までありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	共有しないと行けない事例は会議などで伝え合うが、事例集は作成していない。